

## 技術評価報告書

申込者： 昭和産業グループ  
代表会社 昭和産業株式会社 代表取締役社長 小林 正樹  
茨城県筑西市小川 1911 番地  
(昭和産業グループは昭和産業株式会社を含めた 14 社で構成される。)

技術名称： 異形鉄線溶接金網 CD メッシュ重ね継手・定着工法 (2021 年)

当法人「建築構造技術審議委員会」において慎重審議の結果、2021年3月26日付けの技術評価書 (SABTEC 評価 20-03) の通り、一般社団法人建築構造技術支援機構「建築構造技術検証要綱」で定めた技術基準と照らし合わせ、本技術は妥当なものであると判断されたことを報告する。

2021年3月26日

一般社団法人  
建築構造技術支援機構  
代表理事 益尾 潔

### 建築構造技術審議委員会

委員長	窪田 敏 行	近畿大学	名誉教授
副委員長	田 才 晃	横浜国立大学大学院都市イノベーション研究院	名誉教授
委員	岸本 一 蔵	近畿大学建築学部建築学科	教授
〃	田 中 剛	神戸大学大学院工学研究科	教授
〃	勅使川原正臣	中部大学工学部建築学科	教授
〃	都 祭 弘 幸	福山大学工学部建築学科	教授
〃	三 谷 勲	神戸大学	名誉教授

### CD メッシュ重ね継手・定着工法 専門部会

主 査	岸本一蔵	近畿大学建築学部建築学科	教授
委 員	田才 晃	横浜国立大学大学院都市イノベーション研究院	名誉教授



## 技術評価書

申込者： 昭和産業グループ  
代表会社 昭和産業株式会社 代表取締役社長 小林 正樹  
茨城県筑西市小川1911番地  
(昭和産業グループは昭和産業株式会社を含めた14社で構成される。)

技術名称： 異形鉄線溶接金網 CD メッシュ重ね継手・定着工法(2021年)

技術概要： CDメッシュは、昭和産業グループ14社が製造するJIS G 3551による異形鉄線溶接金網であり、CDメッシュ重ね継手・定着工法では、直交横筋の支圧効果を期待せず、異形鉄筋と同様の重ね継手・定着工法とすることができる。本工法はGBRC性能証明第01-08号(2001年9月4日)を取得し、昭和産業グループ14社とした改定4(2014年8月4日)以来、多数の製造実績を有する。

異形鉄線溶接金網 CDメッシュ重ね継手・定着工法設計・施工要領書(2021年)は、軽量コンクリート1種を用いたCDメッシュの重ね継手・定着実験に基づき、適用範囲に軽量コンクリート1種を用いたCDメッシュを追加し、SABTEC技術評価を取得している。

本委員会は、一般社団法人建築構造技術支援機構「建築構造技術検証要綱」で定めた技術基準と照らし合わせ、下記の通り、本技術は妥当なものであると判断した。

2021年3月26日

一般社団法人  
建築構造技術支援機構  
建築構造技術審議委員会  
委員長 窪田 敏行

### 記

- 評価方法： 申込者提出の下記の資料を基に、技術評価を行った。  
異形鉄線溶接金網 CDメッシュ重ね継手・定着工法(2021年)  
軽量コンクリート1種を用いたCDメッシュ重ね継手・定着実験説明資料  
および関連資料  
これらの資料には、本技術の目標性能達成の妥当性を確認した技術資料がまとめられている。
- 評価内容： CDメッシュ重ね継手部および定着部は、長期荷重時に使用上支障となるひび割れを起こさず、SD295異形鉄筋の短期許容引張応力度までに付着破壊および定着破壊を起こさないと判断される。

## 技術評価内容

### 申込者

#### 昭和産業グループ

代表会社 昭和産業株式会社 代表取締役社長 小林 正樹  
茨城県筑西市小川 1911 番地  
(昭和産業グループは昭和産業株式会社を含めた 14 社で構成される。)

### 技術名称

異形鉄線溶接金網 CD メッシュ重ね継手・定着工法(2021 年)

### 適用範囲

- (1) 適用部位 鉄筋コンクリート床スラブおよび合成スラブ
- (2) 材 料

異形鉄線溶接金網 JIS G 3551 に適合する CD メッシュ

規格引張強さ：490N/mm<sup>2</sup> 以上

1 箇所当たりの溶接点せん断強さ：250N/mm<sup>2</sup> 以上

(普通コンクリート) 設計基準強度：18N/mm<sup>2</sup> 以上、60 N/mm<sup>2</sup> 以下

ただし、CD メッシュは、CD5, CD5.5, CD6, CD7, CD8, CD9, CD10 の 7 種類とする。

(軽量コンクリート 1 種) 設計基準強度：18N/mm<sup>2</sup> 以上、36 N/mm<sup>2</sup> 以下

ただし、CD メッシュは、CD6, CD7, CD8, CD9, CD10 の 5 種類とする。

### 技術評価の主な審議事項

技術評価の主な審議事項は、以下の通りである。

- 1) CD メッシュ重ね継手部および定着部の目標性能達成の妥当性

### 技術評価に際して行われた実験等の概要

今回の技術評価では、軽量コンクリート 1 種を用いた CD メッシュ重ね継手部(12 体)および定着部(8 体)について実験が行われ、普通コンクリートと同様、鉄筋コンクリート床スラブに長期荷重時に使用上支障となるひび割れが生じないことを確認するとともに、CD メッシュの必要重ね長さおよび必要定着長さを検証している。

### 技術評価の経過

2020 年 12 月 25 日開催の第 47 回建築構造技術審議委員会(以下、本委員会と略記)で申込者提出の技術資料について検討し、詳細検討は専門部会を設けて行うこととした。専門部会では、本委員会での指摘事項を踏まえて修正された技術資料について慎重に審議を行い、結果を 2021 年 3 月 26 日開催の第 48 回建築構造技術審議委員会に報告した。

本委員会では、申込者提出の技術資料について総括的な審議を行い、本技術は妥当なものであると判断した。

以上